

基本目標	地域資産を蓄積する				
成果指標	日本遺産登録	本年度目標値	登録	現状値	申請 (R1.5 登録外)
成果指標		本年度目標値		現状値	

	実施内容・成果の総括	次期四半期以降への方針
第1四半期	<p><b>【政策1 歴史や文化、風土の活用と継承】</b>については、5月20日の日本遺産申請の結果発表を受け、生涯学習課内での打合せ及び町長・副町長・教育長との協議を行い、今後の取り組みについて検討した。歴史や文化財の活用については、第1回歴史文化基本構想推進委員会、第1回歴史文化基本構想を活用した観光拠点づくり協議会を開催し、今年度の事業計画等について協議した。また、第1回歴史めぐりを開催し、栃木県立博物館、川崎城跡、那須神社・金丸八幡宮を見学した。また、文化財シリーズとして、「広報ましこ」5月号には、「今月の行事と文化財①～歴史めぐり～」、6月号には「今月の行事と文化財②～あじさい祭り～」を掲載した。ましこ世間遺産については、平成30年度ましこ世間遺産の案内看板の設置が完了した。令和元年度のましこ世間遺産の申請については、自治会長会議、「広報ましこ」6月号等で周知を図り、6月1日から受付を開始した。6月30日現在の申請件数は4件(松本屋台、上山権現まつり、星宮神社、山の神の祠と祭礼)であった。アカマツ復活プロジェクトについては、益子里山の会が実施予定地の下草刈りを行うとともに、県東環境森林事務所との打合せを行った。</p> <p><b>【政策2 次世代につなぐ基盤整備】</b>については、ランドスケープデザイン講演会を開催するとともに7か所での地域づくり懇談会の開催・山本地区現地調査を実施した。また、「役場周辺土地区画整理事業」に関する打合せを県都市計画課・真岡土木事務所・県警交通規制課と打合せを実施するとともに、来年度の組合設立を目指して組合設立準備会会議を2回開催した。道路整備では、町道70号線、町道73号線道路工事の発注及び町道33-1号北中大平線繰越工事が完了した。</p> <p><b>【政策3 魅力あるブランドイメージづくり】</b>については、おもてなし補助事業の「陶器市直行バス運行」で444人、「陶器市巡回バス運行」で4,816人の利用となった。国内外のプロモーション企画及びトップセールス事業を検討する「益子町・セントアイヴス友好100年祭記念事業実行委員会」を2回開催した。</p>	<p><b>【政策1】</b>については、日本遺産申請については、今まで以上に観光商工課との連携を強化し、ブランド戦略会議や観光戦略会議の内容も踏まえて、ストーリーを作成する。また、観光ボランティアガイドや文化財保護審議会委員、観光戦略会議に参加する専門家にも意見を求め、計画全体を見直す。7月11日には県文化財課を訪問し、今後の日本遺産申請について協議する。また、8月には再度県文化財課を訪問し、申請内容について指導助言をいただく。歴史や文化財の活用については、文化財シリーズとして「広報ましこ」7月号に、「今月の行事と文化財③～町内の夏祭り・祇園祭～」を掲載する。文化財の保存については、4月10日に日下田邸(染色工房併用)の文化財保存修理事業補助金(県費補助金)申請補助及び町補助交付の決定により、今後保存修理が計画的に進められるよう支援する。ましこ世間遺産については、7月6日に申請された4件のうち2件(星宮神社、山の神の祠と祭礼)の現地調査を行う。また、7月27日の認定式に向け準備を進める。アカマツ復活プロジェクトについては、間伐枝打ち体験やイベントの開催(時期、内容)等について、県東環境森林事務所、益子里山の会、益子西小学校と協議を行う。</p> <p><b>【政策2】</b>ランドスケープデザイン作成のために、環境・農業・林業・観光業などの各専門分野、町民、益子にかかわる方々との意見交換会、ワークショップやフォーラムなどを開催していく。「役場周辺土地区画整理事業」については、来年度の組合設立を睨んで未同意者6人の同意取得に努める。回遊性を高める道路整備を推進していくために、県と連携し国道・県道の事業促進や要望箇所の協議をしていく。益子の森の遊具整備について、昨年度設置された遊具を考慮し総合的に調整の取れた整備計画を立てていく。</p> <p><b>【政策3】</b>ブランド戦略及びビジュアルアイデンティティは、観光戦略会議で検討し実施していく。また、インバウンド誘客に繋がる効果的な英国トップセールスと町内英国祭の開催に向けて、関係団体と連携して推進していく。</p>

基本目標	地域資産を蓄積する	第2四半期
------	-----------	-------

区分	成果指標・KPI	単位	前年度実績	年度目標値	現在実績値	対前年同期
成果指標	日本遺産登録	—	選外	登録済	—	—
政策1	①ましこ検定の受験者数	人	197	170	—	—
	②ましこ世間遺産認定数（累計）	件	42	50	46	+19
政策2	①ランドスケープデザインの作成	—	未実施	作成	—	—
	②地域への愛着や誇りを感じる人の割合	%	74.5	79.0	—	—
政策3	①地域ブランド調査ランキング	位	450	200位以内	—	—

実施内容・成果の総括	次期四半期以降への方針
<p>1 ①日本遺産申請に向けて、計画的に県文化財課、笠間市、観光ボランティアましこ、地域おこし協力隊等との打合せを行った。第2回歴史講座「栃木の鉄道事業と益子」（参加者41名）及び第3回歴史講座「益子の城館跡について」（参加者87名）を開催した。「広報ましこ」に「今月の行事と文化財」と題して、7月号には「町内の夏祭り・祇園祭」、8月号には「芦沼の一万燈/十二天真言八祖絵図の虫干し」、9月号には「第3回歴史講座」を掲載した。</p> <p>②「ましこ世間遺産」（平成30年度下期分15件、令和元年度上期分4件）の撮影準備を行った。また、令和元年度上期分4件については、看板づくりに取りかかった。アカマツ復活プロジェクトについては、益子里山の会メンバーが実施地の下草刈りを行った。</p> <p>2 ①町道7号生田目東田井線の舗装工事完了及び155号参考館線の平面測量を開始した。ランドスケープデザイン中間報告会に関する打合せ実施。</p> <p>②益子町役場周辺土地区画整理事業の地区境界測量が終了し、都市計画変更縦覧を実施した。</p> <p>3 ①町のブランドイメージとビジュアルアイデンティティを構築するため、観光戦略会議内にブランディング部会を設置した。2020年の濱田庄司×リーチ工房友好100年祭に向けて、「益子×セントアイヴス100年祭実行委員会」を4回開催し、事業内容の検討を行った。</p>	<p>1 ①日本遺産申請に向けて、タイトル、ストーリーの概要、ストーリー等を修正し、県文化財課へ10月18日までに関係書類を提出できるよう準備を進めていく。文化庁への訪問は10月30日である。第4回歴史講座「古代芳賀郡の仏教について」は、10月26日の開催に向けて準備していく。第2回歴史文化基本構想推進委員会及び第2回歴史文化基本構想を活用した観光拠点づくり協議会については、それぞれの開催に向け、日程を調整しながら準備を進めていく。</p> <p>②「ましこ世間遺産」の撮影については、撮影委託業者と連携を図り、計画的に進めていく。看板については10月中に完成させ、11月に関係団体と協議し設置していく。下期分については、申請期間(12月1日~1月18日)の周知を図っていく。アカマツ復活プロジェクトについては、12月に枝打ち体験に参加する益子西小(5年生)との打合せを行っていく。</p> <p>2 ①町道70号、73号の工事及び170号一の沢円道線(仮称)の説明会を進めていく。また、ランドスケープデザイン中間報告会(11/17)の準備を進めていく。</p> <p>②引続き未同意地権者の同意取得に努め、令和2年4月の組合設立に向けて準備していく。</p> <p>3 ①観光戦略と方向性を合わせた効果的なプロモーションに繋がるブランディング計画を構築していく。また、インバウンド誘客に繋がる効果的な英国トップセールス事業と町内英国祭の開催に向けて、関係団体と連携して推進していく。</p>

基本目標	地域資産を蓄積する	第3四半期
------	-----------	-------

区分	成果指標・KPI	単位	前年度実績	年度目標値	現在実績値	対前年同期
成果指標	日本遺産登録	—	選外	登録済	—	—
政策 1	①ましこ検定の受験者数	人	197	170	—	—
	②ましこ世間遺産認定数（累計）	件	42	50	46	—
政策 2	①ランドスケープデザインの作成	—	未実施	作成	—	—
	②地域への愛着や誇りを感じる人の割合	%	74.5	79.0	—	—
政策 3	① 地域ブランド調査ランキング	位	450 位	200 位以内	533	△83

実施内容・成果の総括	次期四半期以降への方針
<p>1 ①10月30日に文化庁訪問。日本遺産のストーリー等について具体的なアドバイスを受けた。また、ストーリーの概要及びストーリーについては、笠間市との協議の上、JTBを通じてライターに添削依頼。歴史や文化財の活用については、10月26日に第4回歴史講座を開催した。参加者は40名。また、11月15日に第2回歴史文化基本構想委員会、11月20日に第2回歴史文化基本構想を活用した観光拠点づくり協議会を開催し、今年度の事業進捗状況等について協議した。</p> <p>② 12月1日から令和元年度「下期分ましこ世間遺産」申請の受付開始。12月17日の自治会長会議で説明し周知を図った。12月27日現在の申請件数は3件(生田目古墳群、生田目城、山の神・どんど焼き)。「上期分ましこ世間遺産」案内看板については12月5日に設置完了。アカマツ復活プロジェクトについては、12月13日に益子西小5年生が益子の森で間伐体験を実施した。参加者は47名。</p> <p>2 ①ランドスケープデザインの間接報告会を開催し、各地区の取組状況と今後の方向性について説明した。町内の回遊性を高める道路整備を推進するため、町道107号線(仮称)の地権者に対して説明会を開催した。また、町道18号七井大平線については地元の同意を取り付ける事ができた。</p> <p>②益子町役場周辺土地区画整理事業では、地権者の理解を得るために、組合設立準備会役員と帯同で訪問し、本同意取得率は88.3%となった。また、老朽化した益子の森トリムコースの新たな遊具設置工事に着手した。ましこを誇る地域資産の一つである小宅古墳群において、亀岡八幡宮里山の会が実施した桜の苗木の植樹の支援を行った。</p> <p>3 ①観光戦略会議内に設置したブランディング部会において、町のブランドイメージとビジュアルアイデンティティを構築するための取組に着手した。また、各種イベントに対する補助事業の取組は「新そば祭り」など3件で、合計1,629人の参加または利用となった。2020年の濱田庄司×セントアイヴスリー工房友好100年祭に向けて、英国トップセールス事業と町内英国祭の企画事業を関係団体と協議し進めた。</p>	<p>1 ①1月8日の「日本遺産認定に向けたシンポジウム」に向けて、笠間市と準備を進めていく。また、1月22日に文部科学省を訪問し、町長から大臣に手渡す「日本遺産申請書」の準備を進めていく。歴史や文化財の活用については、2月1日の第2回歴史めぐりの参加者募集を行っていく。また、2月29日の第5回歴史講座について、講師との打合せを進めていく。ましこ検定については、2月22日の実施に向けて、観光ボランティアガイドによる出前講座等の案内を行っていく。</p> <p>②令和元年度「下期分ましこ世間遺産」申請の受付を終了した。申請件数は4件(生田目古墳群、生田目城、山の神・どんど焼き、彼岸花街道)。2月22日の認定式に向けて、第4回ましこ世間遺産実行委員会を開催し、審査会や認定式日程等を協議する。アカマツ復活プロジェクトについては、2月28日の益子西小6年生による植樹体験に向けて、県東環境森林事務所、関係団体、益子西小と協議を進めていく。</p> <p>2 ①ランドスケープデザイン計画作成に向けて最終調整を行うと共に、最終報告会の開催準備や周知のための冊子作成を進めていく。町道107号線(仮称)及び町道18号七井大平線は地元の同意に基づき事業を進め、回遊性を高める道路整備に取り組んでいく。</p> <p>②益子町役場周辺土地区画整理事業の地権者の更なる理解促進と本同意取得を図るため、引続き組合設立準備会役員と帯同訪問を継続していく。新たに設置される益子の森トリムコースの遊具の利用促進を図るためのPRを進めていく。また、里山や美しい眺望などの地域資産を次世代へ継承する町民の活動を引続き支援していく。</p> <p>3 ①観光戦略と方向性を合わせて、効果的なプロモーションに繋がるブランディング計画を作成していく。今後もおもてなし補助事業等の周知を図り、事業への支援を通じて関係人口の創出に取り組んでいく。また、インバウンド誘客に繋がる効果的な英国トップセールス事業と町内英国祭の開催に向け、引続き関係団体と連携して推進していく。</p>

基本目標	地域資産を蓄積する	本年度総括 (第4四半期含)
------	-----------	-------------------

区分	成果指標・KPI	単位	前年度実績	年度目標値	現在実績値	対前年同期
成果指標	日本遺産登録	—	選外	登録済	未定	—
政策 1	①ましこ検定の受験者数	人	197	170	6	△191
	②ましこ世間遺産認定数（累計）	件	42	50	50	+8
政策 2	① ランドスケープデザインの作成	—	未作成	作成	作成	—
	②地域への愛着や誇りを感じる人の割合	%	74.5	79.0	—	—
政策 3	①地域ブランド調査ランキング	位	450	200位以内	533	△83

実施内容・成果の総括	次年度への方針
<p>1 ①ましこ検定の受検者数は6人（初級4人、中級2人）であり、目標値170人に達しなかった。中学校1年生を対象に3月実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため臨時休業となり実施できなかった。歴史や文化財の活用については、歴史講座（年4回）や歴史めぐり（年2回）の開催、広報ましこ「今月の行事と文化財」への掲載（年8回）等を行った。</p> <p>②ましこ世間遺産認定数は50件であり、目標値に達した。今年度の認定件数は8件（松本屋台、上山権現まつり、星宮神社、山の神の祠と祭礼、生田目古墳群、生田目城跡、山の神・どんど焼き、彼岸花街道）であった。また、ましこ世間遺産の動画をホームページ上で公開し、町内外に発信することができた。</p> <p>2 ①ランドスケープデザインの情報収集や現地調査が終了し、報告書が完成した。 町内の回遊性を高める道路整備の推進に関しては、町道107号の測量設計に関する地権者全員の同意を得ることが出来た。また、町道7号生田目東田井線道路改良工事と、豆田橋下部工事が完成した。</p> <p>②役場周辺土地区画整理事業は、3月19日に県より事業および組合設立の認可を得た。本同意取得率は、組合設立準備会役員と協力して取組んだ結果、89.6%となった。 また、2か年度に亘る益子の森トリムコースへの県の遊具設置工事が完了した。 アマガツ復活プロジェクトについては、県及び里山の会と連携を図り、益子西小6年生による植栽体験を企画したが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止とし里山の会の協力のもと植樹を行った。</p> <p>3 ①観光戦略会議内のブランディング部会において、イメージビジュアルとキャッチコピーを設定した。また、おもてなし補助事業「益子の雛めぐり」は、15千人の集客となった。益子×セントアイブス100年祭については、関係団体と連携して町内企画事業の実施に向けた協議を行った。</p>	<p>1 ①日本遺産については、笠間市と連絡・調整を行い、認定に向けた準備を行っていく。ましこ検定については、初級試験と中級試験に加え、上級試験の実施を検討するとともに、中学1年生の初級試験を2月中旬頃に実施できるよう準備を進めていく。また、歴史講座（年5回）や歴史めぐり（年2回）については、町民の興味・関心を高める企画・運営に努めていく。</p> <p>②ましこ世間遺産については、目標値55件の達成に向けて、町ホームページ、広報ましこ、広報ましこお知らせ版、自治会長会議等を通じて周知を図り、申請団体を増やしていく。また、ましこ世間遺産の看板については、認定団体と連絡を密にし、適切かつ迅速に設置できるよう準備を進めていく。</p> <p>2 ①ランドスケープデザインの最終報告会を開催し内容を周知していくと共に、ランドスケープデザイン評議会を設立して、事業を進めていく。 町道107号については、測量設計や地権者への説明会を行い、早期の工事着工に努めていく。豆田橋は引続き上部工事を行い、早期完了を目指していく。</p> <p>②事業認可を受けて、役場周辺土地区画整理組合の設立総会に向けて準備を進めていく。引続き、地権者の更なる理解促進と本同意取得の取組を継続していく。 新たな遊具設置完了を受けて、利用促進を図るためのPRを進めていくと共に、管理業務に努めていく。 今年度実施出来なかった小学生による植栽体験について、活動団体や対象小学校と連携して早めの実施を目指していく。</p> <p>3 ①町のブランドイメージデザインを、観光戦略の方向性と合わせた効果的なプロモーションに繋がるよう、ブランディング計画を進めていく。また、インバウンド誘客に繋がる効果的な英国トップセールス事業と町内英国祭開催に向けて、引続き関係団体と連携して推進していく。</p>

		課局名	環境課		
基本目標	地域資産を蓄積する	政策	歴史や文化財、風土の活用と継承		
施策	歴史や文化財の活用	進捗状況	100%		
KPI	ましこ検定の受検者数	本年度目標値	170人	現状値	6人
KPI		本年度目標値		現状値	
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な 取組 内容	4月	③亀岡八幡宮里山会との連携		③代表者との面会 ③森林山村多面的機能発揮対策事業説明会出席	
	5月			③亀岡八幡宮里山の会の活動現場確認	
	6月			③亀岡八幡宮里山の会代表者との活動方針の打合せ	
	7月			③亀岡八幡宮里山の会とおもてなし事業打合せ（1回目）	
	8月			③亀岡八幡宮里山の会代表者との次年度の活動方針の打合せ	
	9月			③亀岡八幡宮里山の会とおもてなし事業打合せ（2回目）	
	10月			③亀岡八幡宮里山の会とおもてなし事業打合せ（3回目）	
	11月			③亀岡八幡宮里山の会とおもてなし事業打合せ（4回目・現地確認）	
	12月			③おもてなし事業を実施し、桜（ジンダイアケボノ）の苗木を植栽した。（12/4） ③多面的事業及び侵入竹対策事業の実績報告書作成支援	
	1月			③亀岡八幡宮里山の会の事業完了確認検査	
	2月			③次年度実施に向けた打ち合わせ	
	3月			③次年度実施に向けた打ち合わせ	

	<p>③担当課の点検・検証                  ②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度)以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第1四半期</p>	<p>③亀岡八幡宮里山の会については、現地確認や活動状況報告から、特に古墳周辺が年々整備がされていることを確認している。古墳群という歴史的な遺産だけでなく、春には満開に咲き誇る様々な桜や、約3haの地面いっぱいに咲く菜の花を見物しに県内外より多くのお客様にお越しいただいている場所なので、今後も整備を続けて行くためには活動組織との親密な関係の形成が不可欠である。</p>	<p>③亀岡八幡宮里山の会の活動区域での森林・山村多面的機能発揮対策事業を活用し整備をすることもあるので関係事務所への事業内容等の報告、連絡調整をする。また事業を実施するにあたり地元の合意形成が必要となるため事業費や事業内容について、地元との意見交換をしていく。</p>
<p>第2四半期</p>	<p>③亀岡八幡宮里山の会による景観対策のための整備については地元との合意形成が図られている。今後も整備を続けていくためには地元活動組織との連携が不可欠である。</p>	<p>③亀岡八幡宮里山会が整備をした箇所について適切な管理ができるよう県東環境森林事務所と連携を図り、必要に応じて助言等協力をしていく。</p>
<p>第3四半期</p>	<p>③小宅地区の2.0haの多面的事業及び侵入竹対策事業の作業完了。今後も整備を続けて行くためには地元活動組織との連携が不可欠である。</p>	<p>③亀岡八幡宮里山会が整備をした箇所について作業完了確認し、今後も適切な管理をできるよう県東環境森林事務所と連携を図り、必要に応じて助言等をしていく。</p>
<p>第4四半期</p>	<p>③小宅馬場山地区について今後も整備を続けて行くためには地元活動組織との連携が不可欠である。</p>	<p>③亀岡八幡宮里山会が整備をした箇所について観光客も増えてきており、今後も適切な管理をできるよう県東環境森林事務所及びみどり推進機構と連携を図りつつ、必要に応じて助言等をしていくことが重要である。</p>

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言  ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	小宅古墳群整備に関しては生涯学習課とも連携を図り事業を進めていく。
	第2四半期	②意見・提言 環境課・生涯学習課による小宅古墳群・円道寺周辺整備の支援は地元での強いやる気につながり、地元では計画どおり順調に進捗しているようだ。日本遺産の申請という挑戦については、事務局の労苦に感謝しており、認定となることを期待している。	
総括（下半期も含む）	第3四半期	委員の検証及び意見・提言  ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	小宅古墳群整備に関しては花の時期には特に観光客が訪れていただけようだったので観光商工課・生涯学習課との連携を図りつつ、植栽面だけでなくさらなる事業展開に協力していく。
	総括（第4四半期も含む）	②意見・提言 年間計画（スケジュール・工程）に沿った事業運営を継続されたい。	

		課局名	生涯学習課		
基本目標	地域資産を蓄積する	政策	歴史や文化財、風土の活用と継承		
施策	歴史や文化財の活用	進捗状況	100%		
KPI	ましこ検定の受検者数	本年度目標値	170人	現状値	6人
KPI		本年度目標値		現状値	
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な 取組 内容	4月	①日本遺産申請に向けての取り組み ①第1回益子町歴史文化基本構想推進委員会の開催（昨年度の実施報告・今年度の事業計画）		②第1回ましこ検定実行委員会の開催（4/25、8名参加 第3回ましこ検定結果報告・取支決算報告・平成31年度年間計画について） ③「日下田邸（染色工房併用）」の文化財保存修理事業補助金（県費補助金）申請補助並びに町補助交付決定（4/10） ④文化財HP更新（2件）	
	5月	①第1回益子町歴史文化基本構想を活用した観光拠点づくり協議会の開催（昨年度の実績報告及び取支決算・今年度の事業計画及び取支予算） ②第1回ましこ検定実行委員会の開催（昨年度実施した、ましこ検定の結果報告） ③文化財修理補助金関係事務の遂行、文化財周辺環境の整備を図る ④歴史講座・文化財ガイド養成講座・歴史めぐりの開催 ④年間を通じた広報活動の実施（広報ましこへの掲載、文化財HPの更新）		①日本遺産申請の結果発表（5/20 落選） ①第1回益子町歴史文化基本構想推進委員会の開催（5/23 17名参加 昨年度の実施報告・今年度の事業計画の協議） ①第1回益子町歴史文化基本構想を活用した観光拠点づくり協議会の開催（5/29、10名参加 昨年度の実績報告及び取支決算・今年度の事業計画及び取支予算の協議） ②歴史めぐり開催（5/25 27名参加 栃木県立博物館、川崎城跡（矢板市）、那須神社（金丸八幡宮）（大田原市）） ④広報ましこ5月号（今月の行事と文化財①～歴史めぐり～）掲載 文化財HP更新（1件）	
	6月			①日本遺産申請に伴う内部打ち合わせ（6/19、5名参加） 三役との打ち合わせ（6/21、7名参加） ④第1回歴史講座（6/8、55名参加 中世東国武士の信仰 講師：國學院大学名誉教授 千々和 到氏） ④広報ましこ6月号（今月の行事と文化財②～あじさい祭り～）掲載 文化財HP更新（1件）	
	7月			①日本遺産に伴う打ち合わせ（7/4・7/10・7/17・7/24 観光ボランティアガイドましこ 各回4名参加・7/11 県文化財課 4名参加・7/18 地域おこし協力隊 3名参加・7/22 観光戦略会議（山田桂一郎氏・蓑田さん）・7/25 副町長 5名参加・7/31 三役 7名参加） ②第2回ましこ検定実行委員会の開催（7/18、8名参加 ましこ検定日程、難易度、合格証・特典について） ④第2回歴史講座（7/20、41名参加 栃木の鉄道事業と益子 講師：那須野が原博物館学芸員 金井忠夫氏） ④広報ましこ7月号（今月の行事と文化財③～町内の夏祭り・祇園祭～）掲載	
	8月	①日本遺産申請に向けての取り組み（ストーリー作り、文化庁訪問） ②第2回ましこ検定実行委員会の開催（募集チラシの検討） ③文化財修理補助金関係事務の遂行、文化財周辺環境の整備を図る ④歴史講座・文化財ガイド養成講座の開催 ④年間を通じた広報活動の実施（広報ましこへの掲載、文化財HPの更新）		①日本遺産に伴う打ち合わせ（8/7・8/22 観光ボランティアガイドましこ 各回4名参加・8/7 副町長 6名参加・8/21 笠間市 14名参加・8/29 笠間市 8名参加） ④広報ましこ8月号（今月の行事と文化財④～「芦沼の一灯籠」と「十二天真言八祖絵図の虫干し」～）掲載 文化財HP更新（1件）	
	9月			①日本遺産に伴う打ち合わせ（9/4・9/20 観光ボランティアガイドましこ 各回4名参加・9/13 県文化財課 5名参加（文化財課1名、笠間市2名、益子町2名）・9/26 笠間市 7名参加） ③令和2年度文化財修理（日下田邸・西明寺本堂）に関する県文化財課ヒアリングを実施（9/6 4名参加） ④第3回歴史講座兼第1回文化財ガイド養成講座（9/28、87名参加 益子の城館跡について 橋本澄朗先生） ④広報ましこ9月号（今月の行事と文化財⑤～第3回歴史講座～）掲載	
	10月	①日本遺産申請に向けての取り組み（ストーリー作り、文化庁訪問） ①第2回益子町歴史文化基本構想推進委員会の開催 ①第2回益子町歴史文化基本構想を活用した観光拠点づくり協議会開催（検討事項の確認） ②第3回ましこ検定実行委員会の開催（出題問題の検討） ③文化財修理補助金関係事務の遂行、文化財周辺環境の整備を図る ④歴史講座・文化財ガイド養成講座・歴史めぐりの開催 ④年間を通じた広報活動の実施（広報ましこへの掲載、文化財HPの更新）		①日本遺産に伴う打ち合わせ（10/2・10/19 観光ボランティアガイドましこ 各回4名参加・10/10 茨城県陶芸美術館訪問 9名参加・10/23 観光戦略会議 10名参加・10/30 文化庁訪問 7名参加・10/31 JTB、笠間市、副町長 8名参加） ②校長会でましこ検定（中学生受検）の依頼（10/1） ②第3回ましこ検定実行委員会の開催（10/23、8名参加 第3回ましこ検定のチラシ・募集要項・難易度・検定料・中学生の受検・特典・合格証等について） ④第4回歴史講座兼第2回文化財ガイド養成講座（10/26、40名参加 古代芳賀郡の仏教について 講師：とちぎ未来づくり財団埋蔵文化財センター 池田敏宏氏） ④文化財HP更新（1件）	
	11月			①日本遺産申請に伴う打ち合わせ（11/19 JTBライター現地視察、笠間市、副町長 9名参加・11/22 観光戦略会議 11名参加・11/26 日本遺産推進議員連盟主催の日本遺産認定に向けた勉強会 4名参加・11/29 文化庁訪問 7名参加） ①旧南間ホテル別館（ましこ悠和館）が登録文化財になることの報道解禁（11/15） ①第2回益子町歴史文化基本構想推進委員会の開催（11/15、14名参加 委嘱状交付・令和2年度文化財保存活用活動状況・令和2年度文化財保存活用の実実施計画について） ②第2回益子町歴史文化基本構想を活用した観光拠点づくり協議会の開催（11/20、13名参加 令和元年度事業進捗状況・取支予算、令和2年度事業計画・取支予算の協議） ④広報ましこ11月号（今月の行事と文化財⑥～山本太々神楽・綱神社太々神楽～）掲載	
	12月			①日本遺産申請に伴う打ち合わせ（12/4・12/18 JTB、笠間市、副町長 各回8名参加） ①令和2年度文化芸術振興費補助金（歴史文化基本構想を活用した観光拠点づくり協議会関係）の交付要望書提出（12/18） ④文化財HP更新（1件）	
	1月			①日本遺産認定に向けたシンポジウムの開催（1/8 内容：基調講演、パネルディスカッション 参加者：約200名（笠間市約60名、益子町40名） 場所：笠間市友部公民館） ①日本遺産申請書を県文化財課に提出（1/17） ①日本遺産申請書を萩生田文部科学大臣に手交（1/22） ②第4回ましこ検定チラシ・問題（中学生用、一般用（初級・中級）作成（1/22） ③文化財防火訓練実施（1/19 町内8カ所） ④広報ましこ1月号（旧南間ホテル別館（ましこ悠和館）が登録文化財になります）掲載 ④文化財HP更新（3件）	
	2月	①日本遺産申請の提出（1月中旬の予定） ②第4回ましこ検定実行委員会の開催（最終調整）、ましこ検定の実施 ③文化財防火訓練の開催（1/19実施予定） ③文化財修理補助金関係事務の遂行、文化財周辺環境の整備を図る ④歴史講座・文化財ガイド養成講座の開催 ④年間を通じた広報活動の実施（広報ましこへの掲載、文化財HPの更新）		②第4回ましこ検定実行委員会の開催（2/5、9名参加 ましこ検定申込状況、問題（初級・中級・中学生）の最終確認について） ②第4回ましこ検定の実施（2/22、初級4名・中級2名、計6名受検） ②第2回歴史めぐり開催（2/1 テーマ：那須塩原市の日本遺産をめぐる 行き先：那須野が原博物館、松方別邸、旧吉木家那須別邸 参加者：29名） ②第5回歴史講座は2/29に予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、中止になった。 ④広報ましこ2月号（今月の行事と文化財⑦～西明寺節分護摩～）掲載 ④文化財HP更新（2件）	
	3月			③3/5～3/11に予定していた企画展「益子町の須臾器について」は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、中央公民館臨時休館に伴い中止になった。 ④広報ましこ3月号（今月の行事と文化財⑧～小宅古墳群の花・桜まつり～）掲載	

	<p>③担当課の点検・検証</p> <p>②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度)以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第1四半期</p>	<p>①日本遺産の申請をした結果、落選となってしまったため、その理由を県文化財課を通し、文化庁に確認した。日本遺産審査委員の評価について報告を受けたため、申請の進め方等、今後の方針を検討する。</p> <p>①益子町歴史文化基本構想推進委員会の委員の皆様の見意見を参考に、次年度からの事業内容を検討する。日本遺産は再チャレンジしてもらいたいという意見があった。</p> <p>①益子町歴史文化基本構想を活用した観光拠点づくり協議会を開催したが、各委員から要請された件を踏まえ、予算内で今年度できる部分を検討する。</p> <p>②ましこ検定結果として以前に初級受けた人が今回中級も受検した。中学生は来年も実施する方向で、前回合格できなかった中学生にも再受検を要請する。合格した中学生には一般の人が受検する中級試験にもチャレンジを要請する。なお、中学生の合格率が低かったため、合格率を上げる対策をする必要あり。</p> <p>③文化財修理補助金の交付決定者と連絡を密にとり、改修工事がスムーズに行えるようにバックアップをしていく。</p> <p>④歴史めぐりは、県立博物館の企画展及び中道沿いにあった川崎城跡と那須神社を見学し、「下野の鎌倉街道」の見聞を深めることができた。</p>	<p>①日本遺産申請に関しては、今まで以上に観光課との連携を密にし、ブランド戦略会議・観光戦略会議の内容も踏まえてストーリーを検討していく。観光ボランティアガイドや文化財保護審議会委員並びに戦略会議に参加した専門家の方にも意見を求め、町全体の計画にできるよう進めていく。</p> <p>①協議会で各委員から要請された件を整理し、今年度できる部分を検討し、実施していく。</p> <p>②ましこ検定の中学生の合格率を上げる対策を検討する。</p> <p>③文化財所有者との連絡を密にする。</p> <p>④歴史講座兼文化財ガイド養成講座については、引き続き興味を引くような文化財関係の講座や広報に努めていく。</p>
<p>第2四半期</p>	<p>①8月に今年度の日本遺産の申請については益子町単独から笠間市と組んでのシリアル型に変更して進めていくという方針を決めた。観光ボランティアガイドましこや県文化財課、地域おこし協力隊、山田桂一郎氏、蓑田さんなどの意見を参考に取り入れながら、笠間市と協議を進め、日本遺産申請を行う。</p> <p>②ましこ検定実行委員会では、検定日を2月22日(土)午前中に行うことで決定した。実施要項は基本的には昨年同様だが、「受検時間は60分間で、30分経過後退室可能とする」を追加することとした。</p> <p>③令和2年度文化財修理(日下田邸・西明寺本堂)に関する県文化財課ヒアリングを実施し、県に補助金の要請を行った。</p> <p>④歴史講座兼文化財ガイド養成講座については、引き続き興味を引くような文化財関係の講座や広報に努めていく。</p>	<p>①日本遺産申請に関しては、県文化財課の意見「焼き物の説明ばかりでストーリーになっていない」、「一番売りにしたいもの、かさましこの両方に行って魅力が伝わるようなストーリーを書くこと」、「他の窯業地とかかさましことの違い、笠間と益子の違いも明確にすること」などの指摘事項をクリアし、10月～11月の間に文化庁へ相談に伺う。</p> <p>②前回、受検者数が少なかったため、高校生への受検案内や初級合格者が中級に挑戦してもらうよう働きかける。中学生受検については、校長会で提案し、協議結果を次回の委員会に提示する。</p> <p>④歴史講座兼文化財ガイド養成講座については、引き続き興味を引くような文化財関係の講座や広報に努めていく。</p>
<p>第3四半期</p>	<p>①日本遺産は笠間市と組んでシリアル型で申請することとなっているが、JTBのアドバイスを受けて、また文化庁訪問で指摘された項目をクリアできるよう協議し、認定に向けて進めていく。</p> <p>①益子町歴史文化基本構想推進委員会の委員の皆さんの意見を参考に、次年度からの事業内容を検討する。</p> <p>②今年度のましこ検定(一般受検)は昨年同様、初級試験と中級試験を実施する。中学生受検の日程調整のときに観光ボランティアガイドましこによる出前講座も案内し、文化財や検定への関心を高めるように促す。また、合格へのモチベーションを高めるため、合格者への新たな特典について協議・検討する。</p> <p>④歴史講座兼文化財ガイド養成講座については、引き続き興味を引くような文化財関係の講座や広報に努めていく。</p>	<p>①笠間市と協議を進め、日本遺産申請時のストーリーを固めて、期限までに日本遺産申請を行う。</p> <p>①笠間市を会場に「日本遺産への認定に向けたシンポジウム」を1月に開催するので、笠間市と共に準備等を行う。</p> <p>①益子町歴史文化基本構想推進委員会の委員の皆さんの意見を計画的に反映できるように心がける。</p> <p>②中学生受検の日程調整のときに観光ボランティアガイドましこによる出前講座も案内する。また、合格へのモチベーションを高めるため、合格者への新たな特典について協議・検討する。自治会回覧や各小中学校・高校へ配布するなど周知徹底する。</p> <p>④第2回歴史めぐり、テーマは『那須野ヶ原の日本遺産を巡る』を2月に開催するので、参加者募集を行う。</p> <p>④第5回歴史講座兼第3回文化財養成講座、テーマは『茅葺屋根建造物の保存について(仮)』を2月に開催するので、広報等で周知する。</p>
<p>第4四半期</p>	<p>①日本遺産申請については笠間市でシンポジウムを開催したり、直接文部科学大臣に手交するなど例年より力を入れた。</p> <p>②ましこ検定(一般の部のみ実施)</p> <p>初級：申込者4名、受検者4名 合格者2名、不合格者2名</p> <p>中級：申込者2名、受検者2名 合格者2名</p> <p>合計：受検者6名、合格者4名</p> <p>ましこ検定を各中学校で実施するよう予定を組んでいたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のために臨時休業となってしまったため、中学校での受検はできなかった。</p> <p>③文化財防火訓練を消防関係者、文化財関係者、教育委員、地元の方等と連携して開催することができた。</p> <p>④歴史めぐりは毎回人気があり、多くの参加者に出席していただいている。</p>	<p>①日本遺産申請の結果を受けて、その後の事業を検討していく。</p> <p>②昨年同様、ましこ検定は初級試験と中級試験の2種類であったため、受検者数も伸び悩んだが、来年度は上級試験も実施することを視野にいれて受検者数を増やすよう働きかけていきたい。</p> <p>また、今年度は各中学校の受検日程を3月に組んでしまったため、結果的に新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のために臨時休業となり不可能となったが、来年度はもっと早く2月中旬から3月上旬くらいに実施できるよう準備を進めていきたい。</p> <p>③文化財防火訓練の反省会で出された意見を踏まえ、来年度も実施していく。</p> <p>④新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、歴史講座や企画展は中止になってしまったが、次年度以降も引き続き町民の方の興味がある講座等を企画していけるよう検討していく。</p>

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	これからも小宅古墳群等の整備については、地元の方に協力していきたい。  日本遺産については、今年は笠間市と共同でシリアル型で申請することで進めている。JTBのアドバイスを受けつつ、文化庁での指摘事項をクリアし、認定となるように努力していきたい。
	第2四半期	②意見・提言 環境課・生涯学習課による小宅古墳群・円道寺周辺整備の支援は地元の強いやる気につながり、地元では計画どおり順調に進捗しているようだ。  日本遺産の申請という挑戦については、事務局の労苦に感謝しており、認定となることを期待している。  笠間市の連携ということで、詰めの取組となり大変だろうが頑張っていたいただきたい。	
総括（下半期も含む）	第3四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	笠間市と共同申請した「かさましこ～兄弟産地が紡ぐ“焼き物語”～」が日本遺産に認定された。今後は、かさましこ日本遺産活性化協議会を設立し、文化庁からいただく補助金を活用しながら、国内外からの誘客を促進し、イベントに依存した観光客受入から、平日も集まる通年型の観光地へシフトしていきたい。
	総括（第4四半期も含む）	②意見・提言 日本遺産の認定、おめでとうございます。担当の皆さま方のご尽力に敬意を表します。	

		課局名	総務課		
基本目標	地域資産を蓄積する	政策	歴史や文化財、風土の活用と継承		
施策	風土や風景、風習の継承	進捗状況	100%		
KPI	ましこ世間遺産認定数（累計）	本年度目標値	50件	現状値	50件
KPI		本年度目標値		現状値	
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な 取組 内容	4月			③広報関係職員による町内行事等の写真の充実 動画撮影委託業者との契約、撮影内容の確認	
	5月	③写真等については、随時、町内行事等の記録・保存をする。動画については昨年に引き続き、認定された「ましこ世間遺産」を記録・保存するための準備を進める。		③広報関係職員による町内行事等の写真の充実	
	6月			③広報関係職員による町内行事等の写真の充実	
	7月			③広報関係職員による町内行事等の写真の充実	
	8月	③写真等については、随時、町内行事等の記録・保存をする。動画については昨年に引き続き、認定された「ましこ世間遺産」を記録・保存するための準備を進める。		③広報関係職員による町内行事等の写真の充実	
	9月			③広報関係職員による町内行事等の写真の充実 動画撮影委託業者との打合せ	
	10月			③広報関係職員による町内行事等の写真の充実 動画撮影委託業者や関係職員と撮影	
	11月	③写真等については、随時、町内行事等の記録・保存をする。動画撮影委託業者や生涯学習課の職員とともに、認定された「ましこ世間遺産」の動画を撮影し、編集作業を進めてもらう。		③広報関係職員による町内行事等の写真の充実 動画撮影委託業者による動画の編集しホームページ上へアップ	
	12月			③広報関係職員による町内行事等の写真の充実 撮影した動画を町内外にPR	
	1月			③広報関係職員による町内行事等の写真の充実 撮影した動画を町内外にPR	
	2月	③写真等については、随時、町内行事等の記録・保存をする。記録・保存した「ましこ世間遺産」の動画については、ホームページ上にアップし町内外に発信し魅力を伝える。		③広報関係職員による町内行事等の写真の充実 撮影した動画を町内外にPR	
	3月			③広報関係職員による町内行事等の写真の充実 撮影した動画を町内外にPR	

	<p>③担当課の点検・検証                      ②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度)以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第1四半期</p>	<p>平成29年度は、ましこ世間遺産に認定された11件、平成30年度は、16件動画撮影をすることができた。今年度は、昨年度下期認定の15件及び今年度認定のものを撮影する予定のため、契約等の準備をした。</p>	<p>撮影委託業者や生涯学習課と連携をとりながら進めていく。</p>
<p>第2四半期</p>	<p>ましこ世間遺産（昨年度下期認定分15件、今年度上期認定分4件）の撮影準備をした。</p>	<p>撮影委託業者や生涯学習課と連携をとりながら進めていく。</p>
<p>第3四半期</p>	<p>ましこ世間遺産（19件）の動画撮影準備及び撮影、委託業者による編集、ホームページ上での公開をすることができた。</p>	<p>撮影した動画をホームページ上で町内外にPRするとともに、動画の検証をし今後に生かしていく。</p>
<p>第4四半期</p>	<p>ましこ世間遺産の動画をホームページ上で公開し、町内外でPRすることができた。また、町内行事等の写真を充実させることができた。</p>	<p>次年度も、生涯学習課と連携をとり、令和元年度に認定された4件のましこ世間遺産を撮影しホームページ上でPRしていく。</p>

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言  ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし  ②意見・提言 年間計画（スケジュール・工程）に沿った事業運営を継続されたい。	広報ましこの発行やましこ世間遺産の動画撮影については、今後も継続し、町の広報に努める。
	第2四半期		
総括（下半期も含む）	第3四半期	委員の検証及び意見・提言  ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし  ②意見・提言 年間計画（スケジュール・工程）に沿った事業運営を継続されたい。	広報ましこの発行やましこ遺産の動画撮影については、今後も継続し、町の広報に努める。ましこ世間遺産の動画については、ホームページで紹介するだけでなく、更に、活用していく。
	総括（第4四半期も含む）		

		課局名	環境課		
基本目標	地域資産を蓄積する	政策	歴史や文化財、風土の活用と継承		
施策	風土や風景、風習の継承	進捗状況	95%		
KPI	ましこ世間遺産認定数（累計）	本年度目標値	50件	現状値	50件
KPI		本年度目標値		現状値	
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な 取組 内容	4月		②アカマツ復活プロジェクト実施に向けたとちぎの元気な森づくり市町村交付金事業活用等に関する県東環境森林事務所との意見交換		
	5月	②アカマツ復活プロジェクトのイベント実施に向けた関係機関との調整	②アカマツ復活プロジェクト実施に向けて県東環境森林事務所と打合せ		
	6月		②アカマツ復活プロジェクト実施地の下刈り作業参加		
	7月		②アカマツ復活プロジェクト実施に向けて県東環境森林事務所と打合せ		
	8月	②アカマツ復活プロジェクトのイベント実施に向けた関係機関との調整	②アカマツ復活プロジェクト実施に向けて県東環境森林事務所と打合せ		
	9月		②アカマツ復活プロジェクト実施地の下刈り作業参加		
	10月		②枝打ち体験箇所の現地を確認した結果、今年度から間伐作業を体験してもらうこととした。（県東環境森林事務所、益子里山の会、環境課）		
	11月	②アカマツ復活プロジェクトのイベント実施（間伐枝打ち体験等）	②間伐体験箇所の下刈等実施（益子里山の会、環境課）		
	12月		②益子西小学校5年生児童による間伐体験を実施		
	1月		②植樹体験箇所の地拵え		
	2月	②アカマツ復活プロジェクトイベント実施（植樹等）	②植樹時の添え木作成 ②植樹箇所のマーキング ②アカマツ苗木植栽		
	3月		②県東環境森林事務所担当との事業完了の確認検査		

	<p>③担当課の点検・検証                  ( ②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。 )</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度)以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第1四半期</p>	<p>②今年度についても町内小学生による間伐枝打ち体験及び植樹を計画している。とちぎの元気な森づくり市町村交付金事業等を活用し、イベントを開催する。</p>	<p>②アカマツ復活プロジェクトのイベント開催については、開催時期、内容等について、県東環境森林事務所、益子里山の会、益子西小学校と協議を行う。</p>
<p>第2四半期</p>	<p>②アカマツ復活プロジェクトについては今年度のイベント実施について県東環境森林事務所及び益子里山の会と打合せや現地確認を行った。また、イベントの実施にあたっては、とちぎの元気な森づくり県民税事業等を活用する。</p>	<p>②アカマツ復活プロジェクトについてはイベント開催に向け、開催日時、開催内容等県東環境森林事務所と詳細に協議をする。また益子里山の会や益子西小学校と事前打合せを実施して行く。</p>
<p>第3四半期</p>	<p>②アカマツ復活プロジェクトについては、県、益子里山の会および益子西小学校と協議を重ね、とちぎの元気な森づくり県民税事業等を活用し、益子の森にて益子西小5年生による間伐体験を実施した。ほとんどの児童が初体験のようで記憶に残る体験であったと思われる。第4四半期のイベントについても県、益子里山の会および益子西小と開催時期、開催内容、事業費充当について協議をした。</p>	<p>②アカマツ復活プロジェクトについては第4四半期に植樹体験を予定しているため、とちぎの元気な森づくり県民税事業活用のため県東環境森林事務所と協議をする。また関係団体や益子西小学校などに対しても、事前打合せを重ねていく。</p>
<p>第4四半期</p>	<p>②アカマツ復活プロジェクトについては令和2年2月のイベント開催に向けて県及び益子里山の会と連携を図った。新型コロナウイルスの感染拡大予防のため、益子西小6年生による植栽体験は実施を見送った。用意した苗木については、益子里山の会の協力のもと植栽作業を行った。</p>	<p>②アカマツ復活プロジェクトについてはイベントを開催するに当たって、開催時期、開催内容、事業費の充当について、森林環境譲与税などを活用し県東環境森林事務所と詳細に協議をする。また今年度実施出来なかった益子西小の学童による植栽体験実施については、活動団体や小学校などと事前打合せを早めに対応して行く。</p>

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	アカマツ復活プロジェクトは町木であるアカマツの景観、環境等を考慮をして小学校と連携し事業に取り組んでいく。
	第2四半期	②意見・提言 赤松プロジェクトについては、今ある公共施設の松の保護を要望したい。旧小宅小学校、七井中学校の樹幹注入松くい虫防除の予算確保に尽力されたい。	
総括（下半期も含む）	第3四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	アカマツ復活プロジェクトは町木であるアカマツの景観、環境等を考慮して2年度で4年目となり更なる事業に取り組んでいく。2年度は活動内容の周知を行うとともに活動の幅を今後どのように広げていくかの検討もしていきたい。
	総括（第4四半期も含む）	②意見・提言 年間計画（スケジュール・工程）に沿った事業運営を継続されたい。	

		課局名	生涯学習課			
基本目標	地域資産を蓄積する	政策	歴史や文化財、風土の活用と継承			
施策	風土や風景、風習の継承	進捗状況	100%			
KPI	ましこ世間遺産認定数（累計）	本年度目標値	50件	現状値	50件	
KPI		本年度目標値		現状値		
KPI		本年度目標値		現状値		
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果		
主な 取組 内容	4月	①第1回ましこ世間遺産実行委員会の開催（昨年度支給した環境整備費補助金の実績報告） ①今まで世間遺産に認定された箇所のHP更新、平成30年度下半期認定分の詳細HP作成 ①平成30年度ましこ世間遺産の案内看板製作・設置（同意を得た箇所） ①平成31年度世間遺産申請受付開始の広報作成 ③町指定の祭り・お囃子団体に交付金を交付する		①第1回実行委員会の開催（4/25、8名参加 環境整備費補助金の実績報告・収支決算報告・平成31年度年間計画について） ①年度変更に伴う祭り等の日程変更についてHP更新（4/27） ①世間遺産案内看板製作中		
	5月			①世間遺産案内看板製作終了（5/15） 世間遺産案内看板設置（12箇所 5月末現在） ①自治会長会議で世間遺産申請募集について説明（5/22） HP（5/15）、広報ましこお知らせ版（5/26）、広報ましこ（6/1）で6/1～世間遺産申請の受付を開始することの周知 ③文化財振興交付金の交付（28件）		
	6月			①世間遺産案内看板設置完了（6/6） ①FB（6/12）、防災無線（6/17）で6/1～世間遺産申請の受付を開始したことの周知		
	7月	①ましこ世間遺産申請場所の現地調査 ①第2回ましこ世間遺産実行委員会の開催（審査会、認定式日程） ①ましこ世間遺産認定式 ①認定箇所の広報周知（広報ましこ、お知らせ版、HPなど） ①案内看板製作 ①環境整備費補助金事務の遂行		①世間遺産申請件数4件、世間遺産の現地調査（7/6、5名参加） ①第2回ましこ世間遺産実行委員会の開催（7/18、8名参加 ましこ世間遺産審査会を開催し、申請した4件すべてが認定された。認定式の日程決定した。） ①ましこ世間遺産認定式の開催（7/27、10名参加） ①環境整備費補助金申請（7/31現在 3件）		
	8月			①益子町教職員研究会主催「地域巡り」で、ましこ世間遺産3カ所案内（8/9、38名参加） ①環境整備費補助金申請（8月中、2件）		
	9月			①広報ましこ9月号に認定された世間遺産の紹介記事を掲載した。 ①環境整備費補助金申請（9月中、1件）		
	10月	①第3回ましこ世間遺産実行委員会の開催（下期開催の検討） ①環境整備費補助金事務の遂行		①益子地区高齢者学級「シルバーセミナー」で『ましこ世間遺産を知る』というタイトルで講義（10/3、15名参加） ①女性講座で『益子の文化財 ましこ世間遺産』というタイトルで講義（10/16、15名参加） ①第3回ましこ世間遺産実行委員会の開催（10/23、8名参加 ましこ世間遺産令和元年度下期募集についてスケジュールを決定した）		
	11月			①HP（11/26）、広報ましこお知らせ版（11/24）、広報ましこ（12/1）で12/1～令和元年度下期ましこ世間遺産募集開始することを周知 ①環境整備費補助金申請（11月中、5件） ①令和元年度上期分世間遺産案内看板製作中		
	12月			①令和元年度上期分世間遺産案内看板設置完了（12/5） ①FB（12/6）、防災行政無線（12/17）、自治会長会議（12/17）で12/1～令和元年度下期ましこ世間遺産募集開始していることを周知 ①中学生の校外学習受け入れ（総合的な学習の時間の一環）で世間遺産について説明（12/11、益子中学生徒2名） ①環境整備費補助金申請（12月中、2件）		
	1月	①第4回ましこ世間遺産実行委員会の開催（審査会、認定式日程） ①環境整備費補助金事務の遂行		①世間遺産申請件数4件、世間遺産の現地調査（1/25、5名参加） ①環境整備費補助金申請（1月中、1件）		
	2月			①第4回ましこ世間遺産実行委員会の開催（2/5、9名参加 ましこ世間遺産審査会を開催し、申請された4件（生田目古墳群、生田目城跡、山の神祭礼・どんど焼き、彼岸花街道）すべてが認定された。認定式の日程・場所の確認をした。） ①ましこ世間遺産認定式の開催（2/22、9名参加） ①環境整備費補助金申請（2月中、5件）		
	3月			①世間遺産案内看板製作中 ①環境整備費補助金申請（3月中、6件）		

	<p>③担当課の点検・検証                  ②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度)                  以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第1 四半期</p>	<p>①世間遺産申請された場所の現地調査・審査資料の準備をする</p>	<p>①世間遺産申請された場所の現地調査等をする</p>
<p>第2 四半期</p>	<p>①ましこ世間遺産実行委員会で認定された世間遺産4件（松本屋台、上山権現まつり、星宮神社、山の神の祠と祭礼）の案内看板製作を行う。なお、世間遺産の募集は下期も行うこととし、申請期間は12/1～1/18（予定）、認定式は2/22午後と決めた。</p>	<p>①認定された世間遺産の案内看板製作・設置を行う。</p>
<p>第3 四半期</p>	<p>①世間遺産についての講義をしたり、説明したりする中で、参加者に身の回りのましこ世間遺産候補を話し合ってもらい、下期分の申請につなげる。</p>	<p>①世間遺産申請された場所の現地調査・審査資料の準備をする。</p>
<p>第4 四半期</p>	<p>①世間遺産の認定数の目標値が今年度50件（累計）であったが、50件となり、目標を達成することができた。</p>	<p>①世間遺産の看板を滞りなく設置できるように、認定団体と連絡を密にしていく。来年度の申請募集について、実行委員会に諮りスムーズに進めていけるようにする。</p>

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	年間計画に基づき事業運営を進めていく。
	第2四半期	②意見・提言 年間計画（スケジュール・工程）に沿った事業運営を継続されたい。	
総括（下半期も含む）	第3四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	ましこ世間遺産の認定数を増やすため、認定になっていない自治会に推薦していただけるよう働きかけを行いたい。
	総括（第4四半期も含む）	②意見・提言 年間計画（スケジュール・工程）に沿った事業運営を継続されたい。	

		課局名	建設課		
基本目標	地域資産を蓄積する	政策	次世代につなぐ基盤整備		
施策	ましこのランドスケープデザインの作成	進捗状況	100%		
KPI	ランドスケープデザインの作成	本年度目標値	作成	現状値	作成
KPI	(成果代用指数) 町道の改良率	本年度目標値		現状値	
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画 (スケジュール・工程)		②実施内容・実績・成果	
主 な 取 組 内 容	4月		①②真岡土木事務所管内異常気象時における関係機関連絡調整会議 (4/15) ・補助事業交付申請ヒアリング (4/19) ・町道33-1号北中大平線繰越工事の実施 ③ランドスケープデザイン作成講演会の通知、回覧 (4/1) ランドスケープデザイン作成のための情報収集、地域づくり懇談会の通知		
	5月	①②町内の回遊性を高める道路整備や自然災害を考慮した、安全安心なまちづくりを推進する。 ③長期的な景観づくりを目指すため、関係機関と調整し、景観条例の制定を推進するための情報収集。ランドスケープデザインの作成のための情報収集、現地調査	①②県土整備委員会に関する土木事務所ヒアリング (5/23) ・町道33-1号北中大平線繰越工事の実施 ③ランドスケープデザイン作成のための打合せ会議 (5/14) ランドスケープデザイン講演会(5/15) ランドスケープデザイン地域づくり懇談会7か所 (5/17、18、22、24、29、30、31) ランドスケープデザイン作成のための打合せ会議 (5/31)		
	6月		①②今年度事業について真岡土木事務所との意見交換会実施 (6/14) ・長堤沢砂防ダムに関する真岡土木事務所との協議 (6/24) ・主要地方道つくば益子線に関する打合せ (6/27) 町道7号生田目東田井線の道路改良工事を発注した。 ・町道70号、73号線道路工事発注・町道33-1号北中大平線繰越工事の完了 ③ランドスケープデザイン山本地区現地調査 (6/29)		
	7月		①②県土整備委員会 (7/24) ③ランドスケープデザイン中間報告会の概要検討		
	8月	①②町内の回遊性を高める道路整備や自然災害を考慮した、安全安心なまちづくりを推進する。 ③長期的な景観づくりを目指すため、関係機関と調整し、景観条例の制定を推進するための情報収集。ランドスケープデザインの作成のための情報収集、現地調査	①②町道7号生田目東田井線舗装工事の完了・町道4号線および155号線測量の発注③ランドスケープデザイン現地調査 (8/5~6) ランドスケープデザイン中間報告会打合せ (8/7) 総務産業常任委員会で概要説明 (8/30)		
	9月		③ランドスケープデザイン中間報告会打合せ (9/17) 現地調査 (9/29)		
	10月		①②安全安心の道づくりを求める県民大会参加(10/8) ・安全安心の道づくりを求める全国大会参加(10/29) ③町民大学で講義 (10/10) 益子里山の会赤松プロジェクト情報収集 (10/15)		
	11月	①②町内の回遊性を高める道路整備や自然災害を考慮した、安全安心なまちづくりを推進する。 ③長期的な景観づくりを目指すため、関係機関と調整し、景観条例の制定を推進するための情報収集。ランドスケープデザインの作成のための情報収集、現地調査	①②町道4号線および155号線測量の完了 ・全国治水砂防促進大会、要望出席 ・町道107号線(仮称)地権者説明会(11/28)地権者2名欠席 ③高齢者学級で講義 (11/7) 尾立先生との農村景観打合せ (11/14) 現地調査 (11/15) 中間報告会 (11/17) 真岡土木事務所と打合せ (11/25)		
	12月		①②町道107号(仮称)地権者欠席者訪問 (12/5) ・橋梁長寿命化修繕計画策定業務の完了 (12/2) ・豆田橋上部工発注 ・町道70号、73号線道路改良工事完了 ③冊子作成の協議 (12/9)		
	1月		①②町道107号(仮称)の側量設計地権者全員の同意了解 (1/21) ③冊子、ランドスケープ評議会の協議 (1/9)		
	2月	①②町内の回遊性を高める道路整備や自然災害を考慮した、安全安心なまちづくりを推進する。 ③長期的な景観づくりを目指すため、関係機関と調整し、景観条例の制定を推進するための情報収集。ランドスケープデザインの作成のための情報収集、現地調査	③ランドスケープ打合せ (2/7) 現地調査 (2/10、13) 冊子作成の協議 (2/12)		
	3月		①②町道7号生田目東田井線道路改良工事の完了 ・豆田橋下部工時の完了 ③冊子作成の協議 (3/10)		

	<p>③担当課の点検・検証</p> <p>②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度)以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第1四半期</p>	<p>①②県土整備に対し、真岡土木事務所と意見交換会を実施した。今年度の事業及び今後の事業について意見を交換した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町道33-1号北中大平線の工事の完了させる。</li> <li>・町道7号生田目東田井線の道路改良工事を行っていく。</li> <li>・町道70号、73号の道路改良工事を行っていく。</li> </ul> <p>③ランドスケープデザイン作成のため、講演会(5/15) ランドスケープデザイン地域づくり懇談会7か所(5/17、18、22、24、29、30、31) ランドスケープデザイン作成のための打合せ会議を実施した。</p>	<p>①②県事業に関しては、協力し事業が速やかに進捗していくように協力していく。町道改良工事に関しては、早期完了に向け工事を行っていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・また、今後回遊性を高める道路整備として、進めている町道107号一の沢門道寺線(仮称)についても説明会の準備をしていく。</li> </ul> <p>③ランドスケープデザイン作成のため、各専門分野(環境、農業、林業、観光業など)の方や住民や益子にかかわる方々との意見交換やワークショップ、様々な意見収集が見込めるフォーラムなどの実施を検討していく。</p>
<p>第2四半期</p>	<p>①②県土整備委員会により県道の要望を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町道7号生田目東田井線の舗装工事が完了した。また、町道4号栗崎道祖土線および155号参考館線の平面測量を開始した。</li> </ul> <p>③ランドスケープデザイン作成のため、中間報告会(11/17)の打ち合わせを実施した。</p>	<p>①②県事業に関しては、協力し事業が速やかに進捗していくように協力していく。170号一の沢門道寺線(仮称)の説明会の準備を進める。また現在工事を行っている町道70号、73号の工事を速やかに進めていく。</p> <p>③ランドスケープデザインのため、各専門分野(環境、農業、林業、観光業など)の方や住民や益子にかかわる方々との意見交換やワークショップ、様々な意見収集が見込めるフォーラムなどの実施を検討していく。</p>
<p>第3四半期</p>	<p>①②町道107号(仮称)の地権者の説明会を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町道4号線および155号線の測量が完了した。</li> <li>・豆田橋の上部工の発注を行った。</li> <li>・橋梁長寿命化修繕計画策定業務が完了した。</li> <li>・町道70号、73号の工事の年内完了。</li> <li>・町道107号(仮称)の説明会を行った</li> </ul> <p>③ランドスケープデザインの冊子作成、最終報告会の内容について協議していく。</p>	<p>①②事業に関しては、協力し事業が速やかに進捗していくように協力していく。町道107号線(仮称)の地権者の同意がまとまってきたので、設計業務に向けて事業を進めていく。豆田橋に関しては繰り越した下部工に合わせて、上部工の発注を行い、工事を速やかに進めていく。</p> <p>③ランドスケープデザインの冊子作成、最終報告会の準備を進めていく。</p>
<p>第4四半期</p>	<p>①②町道107号の設計測量の同意を地権者より取得した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町道7号生田目東田井線の道路改良工事が完成した。</li> <li>・豆田橋の下部工が完成した。</li> </ul> <p>③ランドスケープデザインの冊子完成、今後、最終報告会に向けて準備していく。</p>	<p>①町道107号の測量設計を行い地権者への説明会を実施していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・豆田橋上部工を引き続き行い、早期完成をする。</li> </ul> <p>③ランドスケープデザインの最終報告会を開催し、ランドスケープ評議会を設立し、事業を進めていく。</p>

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1 四半期	委員の検証及び意見・提言  ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	③ランドスケープデザインを基に、関係者と協議をしながら、実施に向けて検討していく。
	第2 四半期	③意見・提言 ランドスケープデザインについては、役場周辺都市計画に併せ、災害に強い百目鬼川になるのは当然だが、さらに景観を考慮し、錦鯉が泳ぐ潤いのある川的设计を要望したい。	
総括（下半期も含む）	第3 四半期	委員の検証及び意見・提言  ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	③9月にランドスケープ計画の説明会を実施し、関係者と協議をしながら、実施に向けて検討していく。
	第4 四半期	②意見・提言 年間計画（スケジュール・工程）に沿った事業運営を継続されたい。	

		課局名	環境課		
基本目標	地域資産を蓄積する	政策	次世代につなぐ基盤整備		
施策	特性を生かした地域創生	進捗状況	100%		
KPI	「地域への愛着や誇りを感じる人」の割合	本年度目標値	79.0%	現状値	74.5%(H30)
KPI		本年度目標値		現状値	
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な取組内容	4月			②花の会総会にて今年度の活動方針の相談	
	5月			②両会における森林山村多面的機能発揮対策事業申請書の作成支援 ②益子花の会草刈支援 1回	
	6月			②両会における菜種の収穫状況の確認	
	7月			②亀岡八幡宮里山の会とおもてなし事業打合せ（1回目）	
	8月			②両会の次年度活動計画の作成支援	
	9月	②益子花の会、亀岡八幡宮里山の会の活動支援		②亀岡八幡宮里山の会とおもてなし事業打合せ（2回目） ②益子花の会の活動状況（現地）確認	
	10月			②亀岡八幡宮里山の会とおもてなし事業打合せ（3回目）	
	11月			②亀岡八幡宮里山の会とおもてなし事業打合せ（4回目・現地確認）	
	12月			②おもてなし事業を実施し、桜（ジンダイアケボノ）の苗木を植栽した。（12/4） ②多面的事業及び侵入竹対策事業の実績報告書作成支援 ②益子花の会打合せへの参加	
	1月			②亀岡八幡宮里山の会、益子花の会の事業完了確認検査	
	2月			③次年度実施に向けた打ち合わせ	
	3月			③次年度実施に向けた打ち合わせ	

	<p>③担当課の点検・検証                  ②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度)以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第1四半期</p>	<p>②益子花の会については円道寺池周辺、亀岡八幡宮里山の会については亀岡八幡宮内の古墳群が会員の熱心な草刈、植栽、生育活動等により毎年美しく整備されている。両会とも今後も様々な取組を計画しており、引き続き活動を支援できるよう両会との情報交換をして親密な関係性を形成してゆくことが重要。</p>	<p>②益子花の会、亀岡八幡宮里山の会が今後も引き続き活動するにあたっては、従来から交付をうけている森林・山村多面的機能発揮対策交付金が引き続き交付されるよう資料作成の支援や、みどり推進機構との連絡調整をする。また、両会と、今後の活動にあたっての問題点、改善点について意見交換をして持続的な活動の支援をする。</p>
<p>第2四半期</p>	<p>②益子花の会については円道寺池周辺、亀岡八幡宮里山の会についてはその地区の活動を確認した。今後も引き続き活動できるよう現地確認し、活動組織との情報交換をしていくことが重要である。</p>	<p>②益子花の会、亀岡八幡宮里山の会が今後も引き続き活動するにあたっては、従来から交付をうけている森林・山村多面的機能発揮対策交付金が引き続き交付されるようみどり推進機構との連絡調整をする。また、今後の活動にあたっての課題点、改善点について各会とも意見交換及び情報交換をする。</p>
<p>第3四半期</p>	<p>②益子花の会については円道寺池周辺の、亀岡八幡宮里山の会についてはその活動を確認した。今後も引き続き適切に活動できるよう現地確認し、活動組織との情報交換をしていくことが重要である。</p>	<p>②益子花の会、亀岡八幡宮里山の会の今後の活動にあたっては、従来から交付をうけていた森林・山村多面的機能発揮対策交付金を有効に活用し、みどり推進事業との連絡調整を図り事業が適切に実施できるよう努める。また、今後の活動にあたっての課題点、改善点について意見交換及び情報交換をしていく。</p>
<p>第4四半期</p>	<p>②益子花の会については円道寺池周辺、亀岡八幡宮里山の会についてはその活動を確認した。今後も引き続き活動できるよう現地確認し、活動組織との情報交換をしてゆくことが重要である。</p>	<p>②益子花の会、亀岡八幡宮里山の会の今後の活動にあたっては、森林・山村多面的機能発揮対策交付金を活用し、みどり推進機構との連絡調整を図り事業が適切に実施できるよう努める。また、会員の高齢化等が懸念されるが、今後の活動にあたっての課題点、改善点について意見交換及び情報交換をしていく。</p>

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言  ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし  ②意見・提言 年間計画（スケジュール・工程）に沿った事業運営を継続されたい。	昨年度の小宅地区の桜の損傷については新たな植樹を予定している。 益子町の観光のスポットのひとつとして引き続き支援していく。
	第2四半期		
総括（下半期も含む）	第3四半期	委員の検証及び意見・提言  ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし  ②意見・提言 年間計画（スケジュール・工程）に沿った事業運営を継続されたい。	関係各課連携して益子町の桜観光のスポットとなるように引き続き支援していく。
	総括（第4四半期も含む）		

		課局名	農政課		
基本目標	地域資産を蓄積する	政策	次世代につなぐ基盤整備		
施策	特性をいかした地域創生	進捗状況	100%		
KPI	「地域への愛着や誇りを感じる人」の割合	本年度目標値	79.0%	現状値	74.5%(H30)
KPI		本年度目標値		現状値	
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な 取組 内容	4月			未実施	
	5月	②大郷戸ダム親水公園の見回り、草刈りの実施。		②5/16 大郷戸ダム見回り点検	
	6月			②6/20 大郷戸ダム見回り点検	
	7月			②7/29 大郷戸ダム見回り点検 ②7/29～7/30 大郷戸ダム草刈り	
	8月	②大郷戸ダム親水公園の見回り、草刈りの実施。		②8/1～8/3 大郷戸ダム草刈り	
	9月			②9/3 大郷戸ダム見回り点検	
	10月			②10/18 大郷戸ダム見回り点検	
	11月	②大郷戸ダム親水公園の見回りの実施。		②11/12 大郷戸ダム見回り点検	
	12月			②12/11 大郷戸ダム見回り点検	
	1月			②1/27 大郷戸ダム見回り点検	
	2月	②大郷戸ダム親水公園の見回りの実施。		②2/12 大郷戸ダム見回り点検	
	3月			②3/18 大郷戸ダム見回り点検	

	<p>③担当課の点検・検証                      ②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度)以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第1四半期</p>	<p>②近年、ブラックバス、とりわけヘラ鮎の釣り人が多く、日平均20名ほどの人がダムに訪れる。釣り糸や釣り針の放棄があり、草刈り作業で支障をきたしている。</p>	<p>②釣り人に対し、マナー向上の看板を設置する予定。</p>
<p>第2四半期</p>	<p>②定期的に見回りを実施したことで事故等が発生せず、安全に利用していただくことができた。</p>	<p>②利用者が安全に利用できるよう見回り、点検を行う。</p>
<p>第3四半期</p>	<p>②定期的に見回りを実施したことで事故等が発生せず、安全に利用していただくことができた。</p>	<p>②利用者が安全に利用できるよう見回り、点検を行う。</p>
<p>第4四半期</p>	<p>②定期的に見回りを実施したことで事故等が発生せず、安全に利用していただくことができた。</p>	<p>②利用者が安全に利用できるよう見回り、点検を行う。</p>

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言  ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし  ②意見・提言 年間計画（スケジュール・工程）に沿った事業運営を継続されたい。	年間計画に沿った事業運営を継続していく。
	第2四半期		
総括（下半期も含む）	第3四半期	委員の検証及び意見・提言  ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし  ②意見・提言 年間計画（スケジュール・工程）に沿った事業運営を継続されたい。	大郷戸ダム管理者である益子町土地改良区と連携しながら、事業運営を進めていく。
	総括（第4四半期も含む）		

		課局名	観光商工課				
基本目標	地域資産を蓄積する	政策	次世代につなぐ基盤整備				
施策	特性をいかした地域創生	進捗状況	100%				
KPI	「地域への愛着や誇りを感じる人」の割合	本年度目標値	79.0%	現状値	74.5%(H30)		
KPI		本年度目標値		現状値			
KPI		本年度目標値		現状値			
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果			
主な取組内容	4月	②雨巻山、円道寺池、小宅古墳群、大郷戸ダムなど、地域資産の周辺整備や周遊観光、トレッキングが出来るルートの検討。 ④益子の森の遊具や施設についての検討。 ⑤街並みに配慮した観光ルートの検討。		②雨巻山登山者用駐車場、トイレの維持管理業務（通年） ②地域資源の環境整備においては、各民間団体により実施されている。雨巻山（いくべ会）円道寺池（花の会）小宅古墳群（小宅自治会）大郷戸アルプス周遊コース（三登谷会） ②花の会総会4/17。事業報告・事業計画について ④益子の森遊具の整備は県と協議のうえ実施（県東環境森林事務所事業）、その後の維持管理について町が引継ぐ。2018.2019事業			
	5月						
	6月						
	7月						
	8月			②雨巻山、円道寺池、小宅古墳群、大郷戸ダムなど、地域資産の周辺整備や周遊観光、トレッキングが出来るルートの検討。 ④益子の森の遊具や施設についての検討。 ⑤街並みに配慮した観光ルートの検討。		④益子の森トリムコースへ新規に設置する遊具9基が選定された。（県東環境森林事務所から町へ、設置する遊具（案）が提示され、協議のうえ決定された）	
	9月					②円道寺池周辺町有木管理業務（土壌改良）を益子花の会へ委託し実施。9/27完了	
	10月					④益子の森トリムコースへ遊具設置工事開始。工期：10～2月予定。施工：大沢建設	
	11月			②雨巻山、円道寺池、小宅古墳群、大郷戸ダムなど、地域資産の周辺整備や周遊観光、トレッキングが出来るルートの検討。 ④益子の森の遊具や施設についての検討。 ⑤街並みに配慮した観光ルートの検討。			
	12月						
	1月						
	2月			②雨巻山、円道寺池、小宅古墳群、大郷戸ダムなど、地域資産の周辺整備や周遊観光、トレッキングが出来るルートの検討。 ④益子の森の遊具や施設についての検討。 ⑤街並みに配慮した観光ルートの検討。			
	3月					④益子の森トリムコースへ遊具設置工事完了。完了検査3/12 合格	

	<p>③担当課の点検・検証                  ( ②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。 )</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度)以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第1 四半期</p>	<p>②整備団体により、地域資源の環境整備は推進されている。                  ④益子の森遊具整備について、県東環境森林事務所と協議し進める。</p>	<p>②整備団体、関係各課と協議し、必要に応じた周遊整備への支援協力と観光ルートづくりの検討。                  ④昨年度整備された遊具を考慮し、総合的に調整のとれた整備計画を立てる必要がある。</p>
<p>第2 四半期</p>	<p>②整備団体により、地域資源の環境整備は推進されている。                  ④益子の森遊具整備について、県東環境森林事務所と協議し進める。</p>	<p>②整備団体、関係各課と協議し、必要に応じた周遊整備への支援協力と観光ルートづくりの検討。                  ④遊具の管理業務とPRを推進する。</p>
<p>第3 四半期</p>	<p>②整備団体により、地域資源の環境整備は推進されている。                  ④益子の森遊具整備について、県東環境森林事務所と協議し進める。</p>	<p>②整備団体、関係各課と協議し、必要に応じた周遊整備への支援協力と観光ルートづくりの検討。                  ④遊具の管理業務とPRを推進する。</p>
<p>第4 四半期</p>	<p>②整備団体により、地域資源の環境整備は推進されている。                  ④益子の森遊具整備について、H30、R1の2カ年度にて完了した。(設置工事は栃木県、県東環境森林事務所)</p>	<p>②整備団体、関係各課と協議し、必要に応じた周遊整備への支援協力と、観光戦略事業に繋がるコト消費(体験観光型ルートづくり)を検討していく。                  ④遊具の管理業務とPRを推進する。</p>

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	観光戦略マーケティング・ツーリズム部会にて、ニーズに沿った着地型観光のツアー商品造成を検討していきたいと考える。
	第2四半期	②意見・提言 点と点を結ぶ「線」となるようなコースの紹介やコースづくりを進め、様々なニーズに沿った場所を案内できるとよい。	
総括（下半期も含む）	第3四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	年間計画（スケジュール・工程）に沿った事業運営に努め、地域の特性や観光資源を活用した環境整備や旅行商品造成を推進してまいります。
	総括（第4四半期も含む）	②意見・提言 年間計画（スケジュール・工程）に沿った事業運営を継続されたい。	

		課局名	建設課		
基本目標	地域資産を蓄積する	政策	次世代につなぐ基盤整備		
施策	特性を生かした地域創生	進捗状況	100%		
KPI	「地域への愛着や誇りを感じる人」の割合	本年度目標値	79.0%	現状値	74.5%(H30)
KPI		本年度目標値		現状値	
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）	②実施内容・実績・成果		
主な 取組 内容	4月		①関係機関の栃木県都市計画課と「役場周辺土地区画整理事業」の打合せを実施した。(4/5) 真岡土木事務所と「役場周辺土地区画整理事業」の打合せを実施した。(4/10) 県警交通規制課と土地区画整理事業に関連した交差点協議を実施した(4/11) ⑤補助事業交付申請ヒアリング(4/19)		
	5月	①役場周辺地区を、町民が集い、豊かな時間が過ごせる場所にするため、関係機関と調整して役場周辺土地区画整理事業の導入を検討する。 ⑤歩行者や自転車を優先に考えた道路や、街並みに配慮した観光ルートづくりを推進する。	①関係機関の栃木県都市計画課と「役場周辺土地区画整理事業」の打合せを実施した。(5/7) 都市計画決定(変更)ヒアリング(5/8) 第一回組合設立準備会会議の開催(5/9) 都市計画変更縦覧(5/14~28) 栃木県都市計画課と補助事業打合せ(5/24) 鹿沼市地権者戸別訪問・説明(5/30) ⑤県土整備委員会に関する土木事務所ヒアリング(5/23)		
	6月		①R2交付金概算要望ヒアリング(6/5)、群馬県館林地権者戸別訪問・説明(6/13) 真岡土木事務所管理課との排水計画打合せ(6/17) 土地区画整理事業ヒアリング(6/18) 第2回組合設立準備会会議の開催(6/25) ⑤町道18号七井大平線詳細設計説明会(6/4) ・今年度事業について真岡土木事務所との意見交換会実施(6/14)		
	7月		①第3回組合設立準備会会議の開催(7/30) 未同意者戸別訪問(7/31) ⑤県土整備委員会(7/24) ・益子駅南水路工事の完了		
	8月	①役場周辺地区を、町民が集い、豊かな時間が過ごせる場所にするため、関係機関と調整して役場周辺土地区画整理事業の導入を検討する。 ⑤歩行者や自転車を優先に考えた道路や、街並みに配慮した観光ルートづくりを推進する。	①令和2年度概算要望地区に係る関東地方整備局現地視察対応(8/1) 調整会議(8/2) 未同意者戸別訪問(8/2,5,7,8,20,21) 地区界測量立会(8/8,9,17,20) 都市計画変更17条縦覧(8/20~9/3) 真岡土木事務所との事前協議(8/26) 第4回組合設立準備会会議の開催(8/29) 総務産業常任委員会で概要説明(8/30) ⑤町道4号線および155号線測量の発注 ・「とちぎの道」現場検証(8/20) ・町道8号区画線工事の完了		
	9月		①真岡土木事務所と河川、道路現地境界立会(9/3) 県河川課との協議(9/5) 未同意者戸別訪問(9/13,19,21,23,26) 都市計画審議会(9/30) ⑤町道18号七井大平線地元との話し合い(9/30)		
	10月		①都市計画打合せ(10/1) 第5回組合設立準備会会議の開催(10/3) 地権者説明会(10/29)		
	11月	①役場周辺地区を、町民が集い、豊かな時間が過ごせる場所にするため、関係機関と調整して役場周辺土地区画整理事業の導入を検討する。 ⑤歩行者や自転車を優先に考えた道路や、街並みに配慮した観光ルートづくりを推進する。	①都市計画打合せ(11/7) 第6回組合設立準備会会議の開催(11/7) 東京電力と打合せ(11/25) ⑤町道4号線および155号線測量の完了 ・町道107号(仮称)地権者説明会(11/28) 地権者2名欠席		
	12月		①第7回組合設立準備会会議の開催(12/12) ⑤町道107号(仮称)地権者宅者訪問(12/5) ・補助事業ヒアリング(12/3)		
	1月		①第8回組合設立準備会会議の開催(1/16) 設立認可事前協議申請(1/21) ⑤町道107号(仮称)測量設計の地権者同意取得全員完了(1/21)		
	2月	①役場周辺地区を、町民が集い、豊かな時間が過ごせる場所にするため、関係機関と調整して役場周辺土地区画整理事業の導入を検討する。 ⑤歩行者や自転車を優先に考えた道路や、街並みに配慮した観光ルートづくりを推進する。	①第9回組合設立準備会会議の開催(2/12) 事業計画縦覧(2/13~26) 東電とNTTとの協議(2/18)		
	3月		①第10回組合設立準備会会議の開催(3/11) 組合設立認可(3/19) ⑤町道7号生田目東田井線道路改良工事完成		

	<p>③担当課の点検・検証</p> <p>②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度) 以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第1四半期</p>	<p>①「役場周辺土地区画整理事業」の事業手法について、地権者の理解を得ること。関係地権者66名のうち事業に対する仮同意者は58名なので、未同意者の同意取得が急務。 ⑤県土整備事業に関連し、真岡土木事務所と意見交換会を実施した。今年度の事業及び今後の事業について意見を交換した(6/14) ・町道18号七井大平線の詳細設計説明会を開催した(6/4)</p>	<p>①「役場周辺土地区画整理事業」の地権者の理解を得るために個別説明を実施し、仮同意取得に努める。 ⑤県と連携し国県道の事業の促進や要望箇所を協議していく。 ・町道18号七井大平線の詳細設計説明会を開催したが、地権者からの意見がまとまっていなかったため、今後どのような形がよいか再度検討していく。</p>
<p>第2四半期</p>	<p>①「役場周辺土地区画整理事業」の事業計画、定款について、地権者の理解を得ること。関係地権者66名のうち事業に対する仮同意者は58名なので、未同意者の同意取得が急務。 ⑤県土整備委員会の実施。益子駅南水路工事が完了した。</p>	<p>①「役場周辺土地区画整理事業」の地権者の理解を得るために役員と協力しながら全体説明会、個別説明を実施し、本同意取得に努める。 ⑤県事業に関しては、協力し事業が速やかに進捗していくように協力していく。 ・町道18号七井大平線地元との話し合いを再度行い、地権者の方の意見がまとまったので事業実施に向け準備を行っていく。</p>
<p>第3四半期</p>	<p>①「役場周辺土地区画整理事業」の事業計画、定款について、地権者の理解を得ること。関係地権者66名のうち事業に対する仮同意者は58名なので、未同意者の同意取得が急務。 ⑤町道4号及び155号線の平面測量が完了した。・町道107号(仮称)線の説明会を行った。</p>	<p>①「役場周辺土地区画整理事業」の地権者の理解を得るために役員と協力しながら、個別訪問を実施し、本同意取得に努める。 ⑤・町道18号七井大平線地元の同意がまとまったため、用地測量、及び補償算定業務を進めていく。 ・町道107号(仮称)線については、説明会を行い概ね了解を得た。欠席者の同意を得て設計業務に進めていく。</p>
<p>第4四半期</p>	<p>①「役場周辺土地区画整理事業」の事業の認可を得た。今後、役場周辺土地区画整理組合の設立総会に向けて、準備していく。 ⑤町道7号生田目東田井線の完成により、優れた排水能力の側溝を備えた周遊性の高い道路が完成した。 ・町道107号の工事に係る地権者の同意を得ながら、次年度測量設計を行っていく。</p>	<p>①役場周辺土地区画整理組合設立し、引き続き、未同意者の理解を得るために役員と協力しながら、事業を進めていく。 ⑤町道107号の測量設計を行い、関係地権者の同意を得ながら、早期の工事着手に務めていく。</p>

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降への方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	①役場周辺土地区画整理事業が早期に完成できるように、地権者、関係者と協力しながら進めていく。
	第2四半期	②意見・提言 年間計画（スケジュール・工程）に沿った事業運営を継続された い。	
総括（下半期も含む）	第3四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	①役場周辺土地区画整理事業がスケジュールどおりに着手できるように、地権者、関係者と協力しながら進めていく。
	総括（第4四半期も含む）	②意見・提言 年間計画（スケジュール・工程）に沿った事業運営を継続された い。	

		課局名	生涯学習課		
基本目標	地域資産を蓄積する	政策	次世代につなぐ基盤整備		
施策	特性をいかした地域創生	進捗状況	100%		
KPI	「地域への愛着や誇りを感じる人」の割合	本年度目標値	79.0%	現状値	74.5%(H30)
KPI		本年度目標値		現状値	
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な 取組 内容	4月	②小宅地区の方と協力し、古墳群の整備を図る。		②古墳に足を踏み入れやすい場所に「古墳保護のため、古墳の登頂はご遠慮ください」の看板を設置した（4月上旬～中旬、10箇所程度）	
	5月			—	
	6月			②小宅古墳群菜種の刈り取り作業の手伝い（6/6、4名参加）	
	7月			②小宅古墳群彼岸花の球根植えの手伝い（7/3、2名参加）	
	8月			—	
	9月			②小宅古墳群にまく肥料運びの手伝い（9/11、3名参加）	
	10月			—	
	11月			—	
	12月			②小宅古墳群での桜の苗木植樹の手伝い（12/4、5名参加）	
	1月			—	
	2月			—	
	3月			②小宅古墳群の菜の花・桜まつりの会場設営（3/5、4名参加）	

	<p>③担当課の点検・検証                      ②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度)以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第1四半期</p>	<p>②亀岡八幡宮里山の会の皆さんは高齢の方が多いため、重労働の作業時等の手伝い要請にできるだけ協力する。</p>	<p>②連絡を密に取り合い、連携して実施する。</p>
<p>第2四半期</p>	<p>②亀岡八幡宮里山の会の皆さんは高齢の方が多いため、重労働の作業時等の手伝い要請にできるだけ協力する。</p>	<p>②連絡を密に取り合い、連携して実施する。</p>
<p>第3四半期</p>	<p>②亀岡八幡宮里山の会の皆さんは高齢の方が多いため、重労働の作業時等の手伝い要請にできるだけ協力する。</p>	<p>②連絡を密に取り合い、連携して実施する。</p>
<p>第4四半期</p>	<p>②亀岡八幡宮里山の会の皆さんは高齢の方が多いため、重労働の作業時等の手伝い要請にできるだけ協力する。</p>	<p>②連絡を密に取り合い、連携して実施する。</p>

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言  ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし  ②意見・提言 年間計画（スケジュール・工程）に沿った事業運営を継続されたい。	年間計画に基づき事業運営を進めていく。
	第2四半期		
総括（下半期も含む）	第3四半期	委員の検証及び意見・提言  ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし  ②意見・提言 年間計画（スケジュール・工程）に沿った事業運営を継続されたい。	今後も年間計画に基づき事業運営を進めていく。
	総括（第4四半期も含む）		

		課局名	観光商工課		
基本目標	地域資産を蓄積する	政策	魅力あるブランドイメージづくり		
施策	町のブランドイメージの確立	進捗状況	100%		
KPI	地域ブランド調査 魅力度市区町村ランキング	本年度目標値	200位以内	現状値	533位
KPI		本年度目標値		現状値	
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な 取組 内容	4月			③おもてなし補助事業「陶器市直行バス運行」4/27-5/6。利用者444人。 ③おもてなし補助事業「陶器市巡回バス運行」4/27-5/6。利用者4,816人。	
	5月	①ブランド戦略会議の設置に向けた検討。 ②ビジュアルアイデンティティの確立に向けた検討。 ③各種イベントの実施により、ましこを愛する人を増やす。 ④トップセールスなどによる国内外プロモーション事業の推進。		①②第1回観光戦略会議5/13。出席委員5/7人。 ①ブランド戦略・ビジュアルアイデンティティ事業は、観光戦略会議で検討し実施する。 ④第1回益子×セトアウゝ100年祭実行委員会5/9。2020年事業計画について出席委員6/6人。2019.2020年の国内外プロモーション企画事業について検討。	
	6月			③おもてなし補助事業「ましこdeカフェ」6/9。入場者3,000人。 ④第2回益子×セトアウゝ100年祭実行委員会6/19。2020年事業計画について出席委員6/7人。2019.2020年の国内外プロモーション企画事業について検討。	
	7月			④第3回益子×セトアウゝ100年祭実行委員会7/2。出席委員6/7人。	
	8月	①ブランド戦略会議の設置に向けた検討。 ②ビジュアルアイデンティティの確立に向けた検討。 ③各種イベントの実施により、ましこを愛する人を増やす。 ④トップセールスなどによる国内外プロモーション事業（英国）の実施。		③おもてなし補助事業「益子夜市」8/10。実績数7,800人。 ④第4回益子×セトアウゝ100年祭実行委員会8/6。出席委員6/7人。2020年事業計画について ④第5回益子×セトアウゝ100年祭実行委員会8/30。出席委員6/7人。2020年事業計画について	
	9月			①②第1回ブランディング部会9/26。出席委員7/8名 ③おもてなし補助事業「益子さんぼ市」9/14-16。実績数6,000人。 ④第6回益子×セトアウゝ100年祭実行委員会9/20。出席委員4/7人。2020年事業計画について	
	10月			①②第2回ブランディング部会10/9。出席委員8/8名 ①②第3回ブランディング部会10/23。出席委員8/8名 ④第7回益子×セトアウゝ100年祭実行委員会10/15。出席委員6/7人。2020年事業計画について	
	11月	①ブランド戦略会議の設置に向けた検討。 ②ビジュアルアイデンティティの確立に向けた検討。 ③各種イベントの実施により、ましこを愛する人を増やす。 ④トップセールスなどによる国内外プロモーション事業（台湾）の実施。		①②第4回ブランディング部会11/22。出席委員7/8名 ③おもてなし補助事業「陶器市直行バス運行」11/2-4。利用者169人。 ③おもてなし補助事業「食ベコンテスト」11/1-5。実績数260人。 ③おもてなし補助事業「新そば祭り」11/9-30。実績数1,200人。 ④インバウンド誘客等トップセールス事業（英国/ロンドン・セトアウゝ）11/1-8。副町長・町長秘書・観光協会長・観光商工課1名 ④第8回益子×セトアウゝ100年祭実行委員会11/12。出席委員5/7人。2020年事業計画について	
	12月			①②第5回ブランディング部会12/9。出席委員5/8名 ①②第6回ブランディング部会12/23。出席委員6/8名 ③おもてなし補助事業「ほっぺんましましこ2019プレミアム」12/1。実績数52人。 ④第9回益子×セトアウゝ100年祭実行委員会12/12。出席委員5/7人。2020年事業計画について	
	1月			④第10回益子×セトアウゝ100年祭実行委員会1/23。出席委員4/7人。2020年事業計画について	
	2月	①ブランド戦略会議の設置に向けた検討。 ②ビジュアルアイデンティティの確立に向けた検討。 ③各種イベントの実施により、ましこを愛する人を増やす。 ④トップセールスなどによる国内外プロモーション事業の推進。		①②第7回ブランディング部会2/17。出席委員8/9名 ③おもてなし補助事業「益子の雛めぐり」2/8-3/3。実績数15,000人。 ④第11回益子×セトアウゝ100年祭実行委員会2/18。出席委員6/7人。2020年事業計画について	
	3月			①②第8回ブランディング部会3/13。出席委員8/9名 ①②第1回ブランド企画力アップ勉強会「里山の自然を生かす企画力アップ」講師：サンバの里自然学校/遠藤準 3/16 参加者18名 ①②第2回ブランド企画力アップ勉強会「地域の人や暮らし、生業を活かす企画力アップ」講師：とちぎユースホステルネットワーク古河大輔 3/24 参加者15名 ③おもてなし補助事業「栃木DC誘客事業」12/15-3/31。誘客促進のための作り制作のみ ④第12回益子×セトアウゝ100年祭実行委員会3/17。出席委員7/7人。2020年事業計画について	

	<p>③担当課の点検・検証</p> <p>②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度)以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第1四半期</p>	<p>①②ブランド戦略の骨子を定め、たうえで事業計画を立てる必要がある。 ③補助金の活用により、地域活性に向けたイベントの実施が出来ている。 ④2020年の濱田庄司×セトアウ*ス、リーチ工房友好100年祭に向け、英国トップセールス事業・町内英国祭を実施する。関係団体と協議し、企画事業を進めることが出来た。</p>	<p>①②骨子、事業計画について関係団体への合意形成を図る必要がある。 ③適正な補助金の執行に努める。 ④インバウンド誘客に繋がる効果的な英国トップセールス事業と、町内英国祭の開催に向け、関係団体と連携し推進していく。</p>
<p>第2四半期</p>	<p>①②ブランド部会を設置し、町のブランドイメージとビジュアルアイデンティティの構築を推進していくための組織体制が出来た。 ③補助金の活用により、地域活性に向けたイベントの実施が出来ている。 ④2020年の濱田庄司×セトアウ*ス、リーチ工房友好100年祭に向け、英国トップセールス事業・町内英国祭を実施する。関係団体と協議し、企画事業を進めることが出来た。</p>	<p>①②観光戦略と方向性を合わせ、効果的なプロモーションに繋がるようなブランディング計画に努める。 ③適正な補助金の執行に努める。 ④インバウンド誘客に繋がる効果的な英国トップセールス事業と、町内英国祭の開催に向け、関係団体と連携し推進していく。</p>
	<p>①②ブランド部会を設置し、町のブランドイメージとビジュアルアイデンティティの構築を推進していくための組織体制が出来た。 ③補助金の活用により、地域活性に向けたイベントの実施が出来ている。 ④2020年の濱田庄司×セトアウ*ス、リーチ工房友好100年祭に向け、英国トップセールス事業・町内英国祭を実施する。関係団体と協議し、企画事業を進めることが出来た。</p>	<p>①②観光戦略と方向性を合わせ、効果的なプロモーションに繋がるようなブランディング計画に努める。 ③適正な補助金の執行に努める。 ④インバウンド誘客に繋がる効果的な英国トップセールス事業と、町内英国祭の開催に向け、関係団体と連携し推進していく。</p>
<p>第4四半期</p>	<p>①②町のブランドイメージから生まれるイメージビジュアルとキャッチコピーを設定した。 ③補助金の活用により、地域活性に向けたイベントの実施が出来ている。 ④2020年の濱田庄司×セトアウ*ス、リーチ工房友好100年祭に向け、英国トップセールス事業・町内英国祭を実施する。関係団体と協議し、企画事業を進めることが出来た。</p>	<p>①②町のブランドイメージデザインを、観光戦略の方向性を合わせた効果的なプロモーションに繋がるようブランディング計画を進めている。 ③適正な補助金の執行に努める。 ④インバウンド誘客に繋がる効果的な英国トップセールス事業と、町内英国祭の開催に向け、関係団体と連携し推進していく。</p>

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	各取組とも第2四半期の方針・改善点を踏まえ実施する。
	第2四半期	②意見・提言 年間計画（スケジュール・工程）に沿った事業運営を継続されたい。	
総括（下半期も含む）	第3四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	年間計画（スケジュール・工程）に沿った事業運営に努め、魅力ある町のブランドイメージの推進・発信に努めてまいります。
	総括（第4四半期も含む）	②意見・提言 年間計画（スケジュール・工程）に沿った事業運営を継続されたい。	